

2020年5月21日  
井関農機株式会社

2020年12月期 第1四半期 決算説明会  
質疑応答要旨

(問1)新型コロナウイルスによる各市場での影響について説明があったが、  
今後の需要をどのように見ているか？

(回答)

<国内>

・この1~3月は営業面で展示会等の中止により売上にも影響が出た。今後の国内需要については、このまま新型コロナウイルスの影響が継続された場合、6月~7月の展示会等の開催が懸念される。ただし、当社事業は「食」・「農業」に関わるため、基本的にはアフターコロナで需要への影響については、他に比べ大きくないのではないかと考えている。むしろ食料自給率向上の機運が高まれば、逆に需要が増えることも我々としては期待したいところ。

<海外>

・アフターコロナの見通しは非常に難しいが、欧米の個人消費については戻り、需要自体が落ちることは無いのではないかと見通しがある。一方で、当社は欧州を中心に賃刈業者や市町村向け等プロ向けの環境整備に携わる機械を販売している。多くは市町村の景観整備予算で購入していただくケースが多いが、この予算について景気対策の方に割振りが多くなり、景観整備予算が減少した場合、需要が少し落ちる可能性も考えられる。一方、食料に携わる所、食料を核にしていかなければならないという面で需要がアップする可能性もある。

以上

**将来予測に関する免責事項**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、2020年12月期第1四半期決算説明会開催日(2020年5月15日)時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。